

# 町の財政状況について

## (令和2年度決算)

◆令和2年度決算に基づく、町の財政状況をご報告いたします。

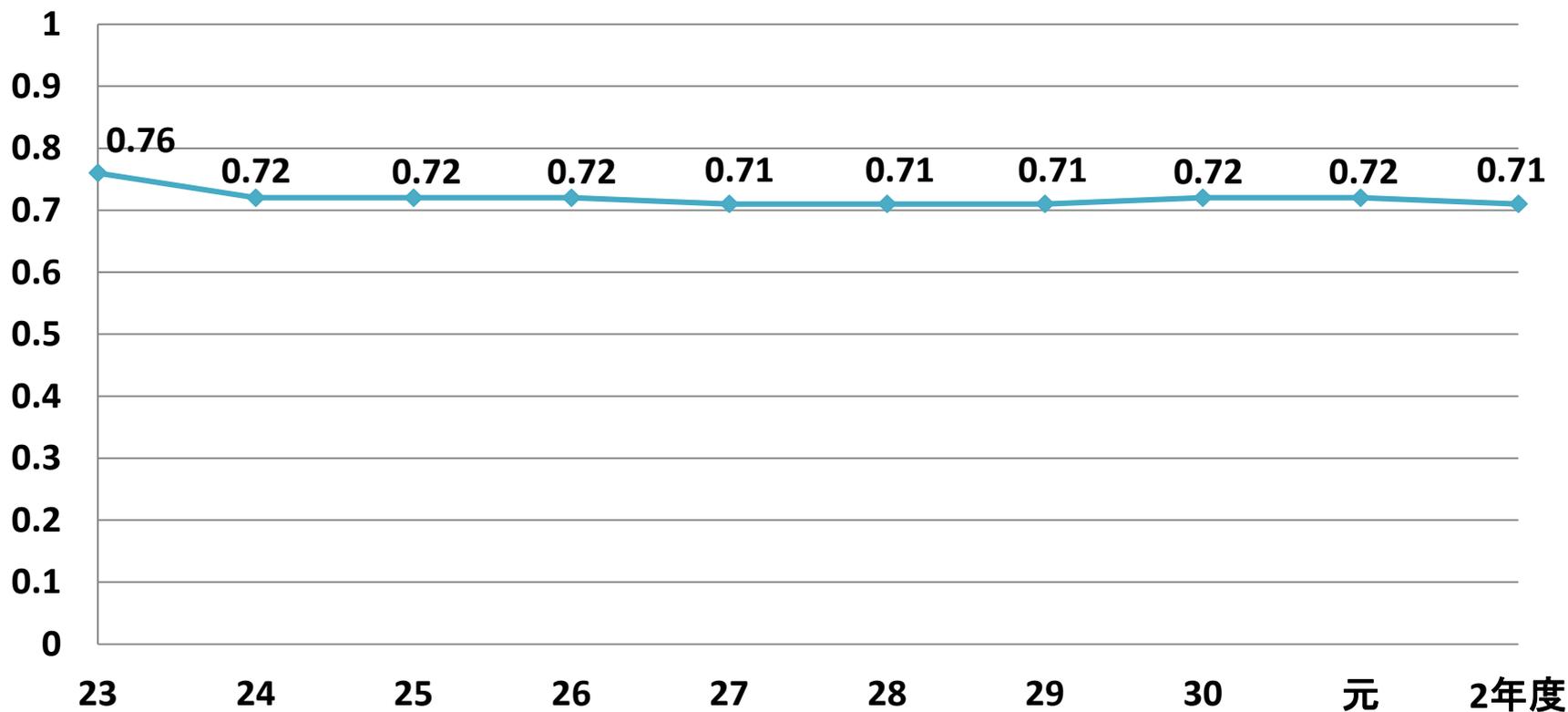
今後も様々な施策を実行していくためには、これまでどおりの健全な財政運営を堅持していくことが極めて重要です。より足腰の強い行財政基盤の構築を図るため、長期的な視点に立ち、財政運営を進めていきます。

なお、令和3年度決算は、9月議会の決算認定に向けて現在作成中です。



# 財政力指数について

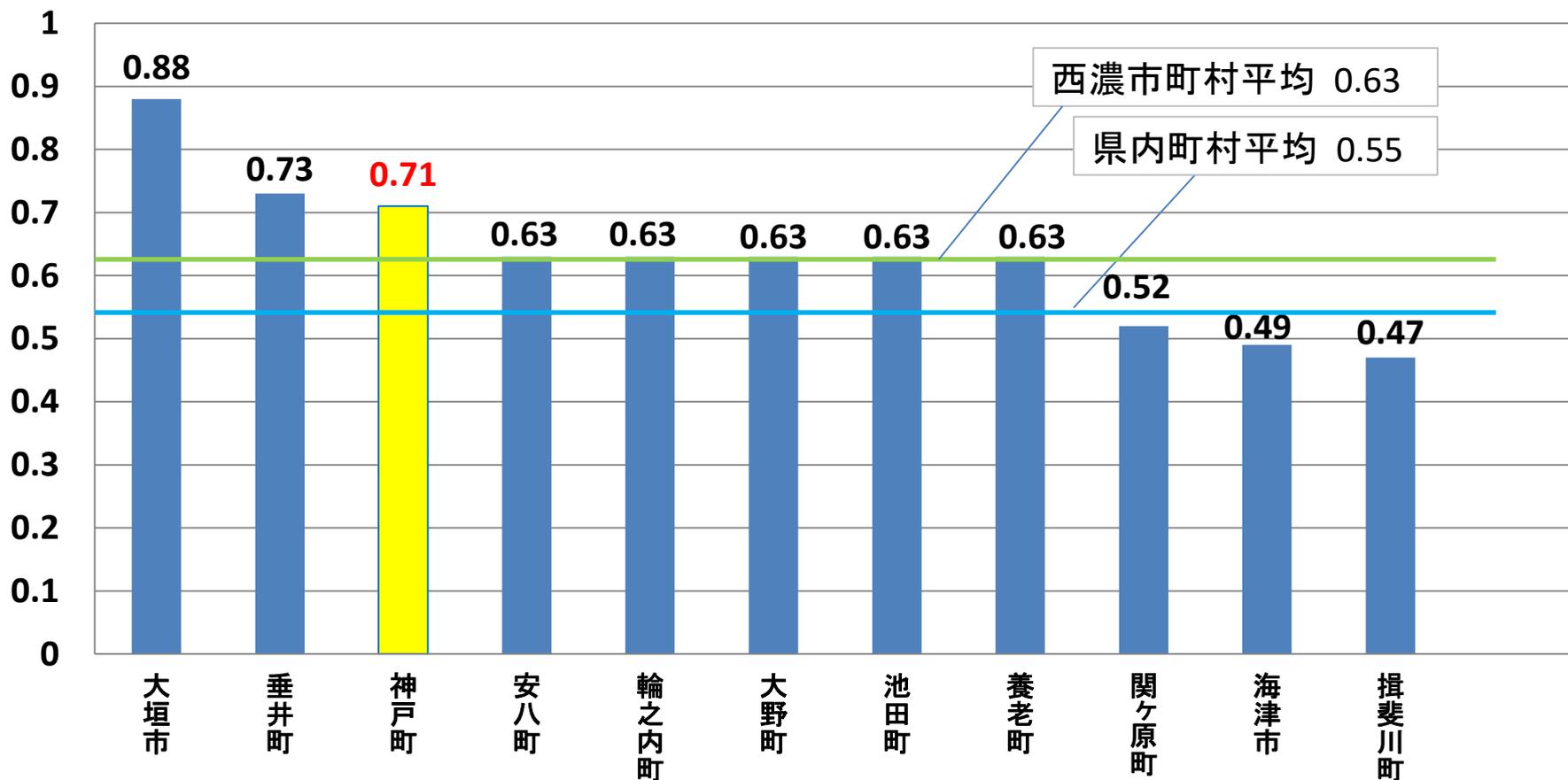
- ◆財政力指数とは、町の人口や面積などに応じて標準的にかかるお金に対して、町の税金や使用料・手数料などの自主的な収入が、どの程度あるか、を示すもので、「まちの体力」を示す数値です。「1」に近いほど、財源に余裕がある、ということになります。



# 財政力指数について

- ◆神戸町は、西濃地域の市町村の中でも、高い数値を維持していることが分かります。神戸町は、県内市町村(42市町村)では、上から12位に位置し、町村(21町村)では、岐南町(0.98)、垂井町につぎ、3位という位置です。

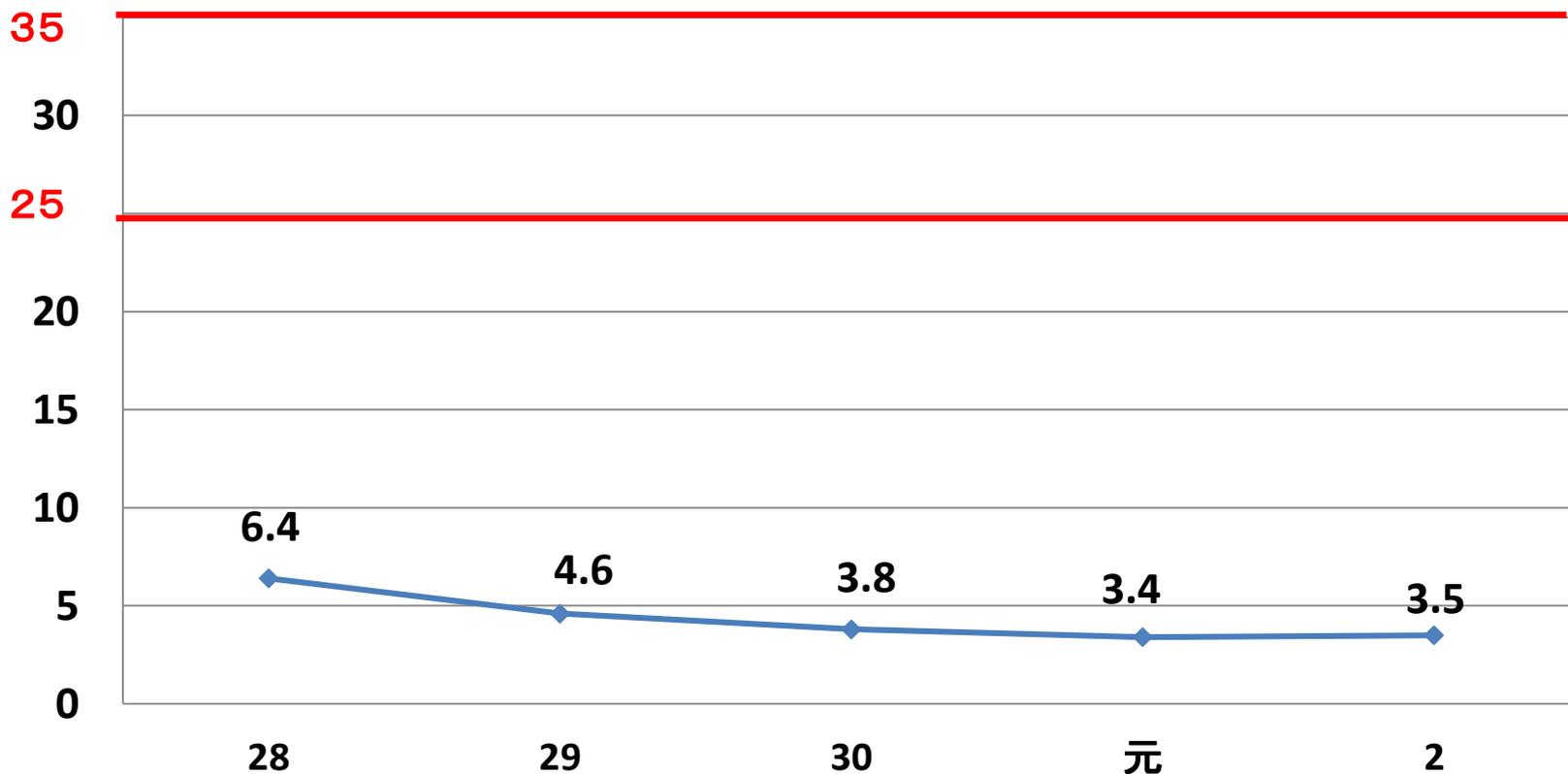
西濃地方自治体の財政力指数(令和2年度数値)・3カ年平均



# 実質公債費比率について

◆実質公債費比率とは、収入に対する地方債(借入金)返済の割合のことです。この比率が、25%を超えると、今後の借入が制限され、35%を超えると、国の指導による確実な財政再建を図ることになります。

単位：%



# 地方債（借入金）の残高について

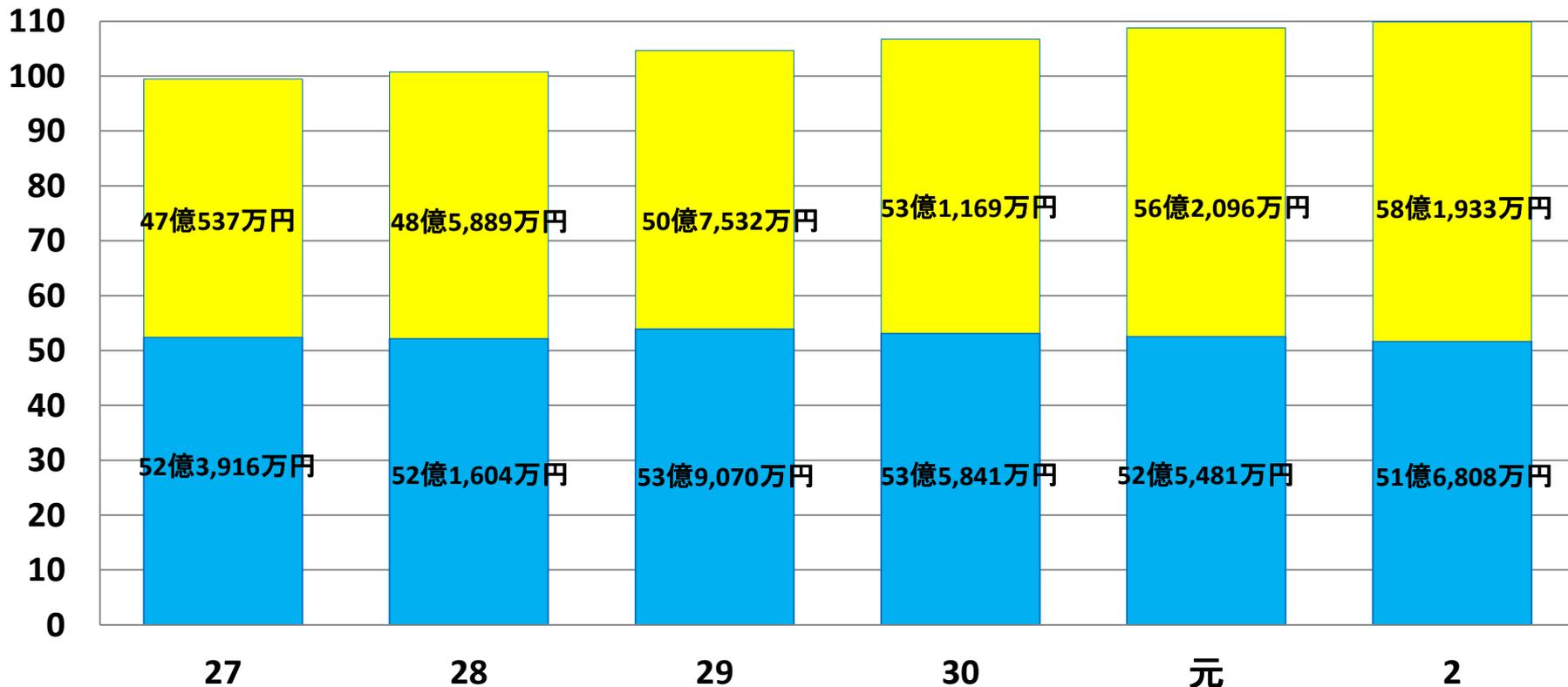
◆地方債は、長期的な借入ですが住民サービスの向上に必要な公共資産を整備していくにあたり、現在の住民だけが一切の負担を負うのではなく、今後サービスを受ける将来の人たちにも負担をしてもらって財源を調達をしようという方法です。借入の約6割は、交付税措置（返済していくときに国が地方交付税を増額して町にお金を渡し返済費用の足しにすること。）されます。さらに、下水道債については下水道使用料の一部を償還に充てています。

単位：億

## 地方債現在高の推移

■ 下水道

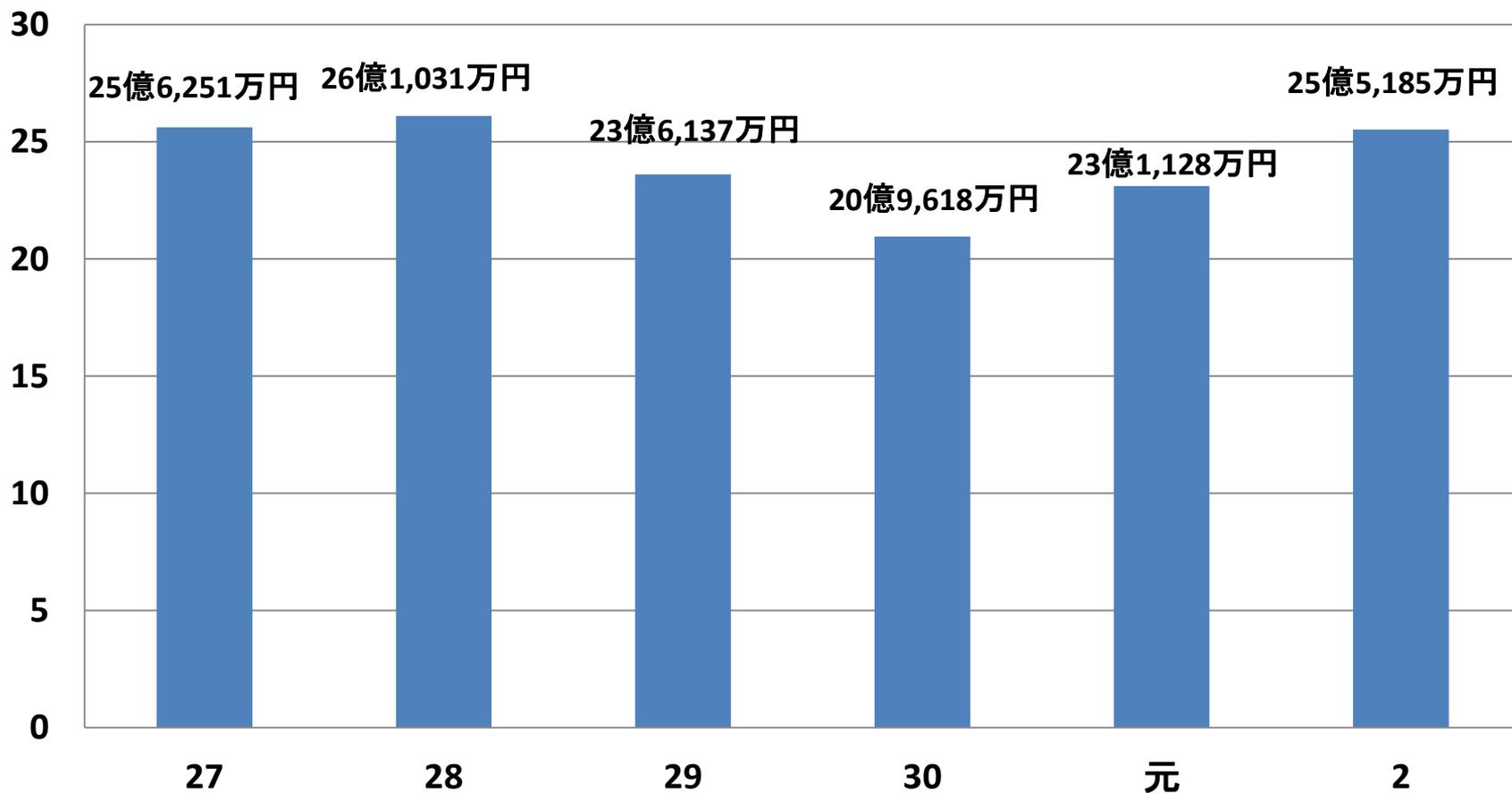
■ 一般会計



# 基金(預金)残高について

◆借金と預金のバランスを考え、効率的な町政運営を図っていきます。

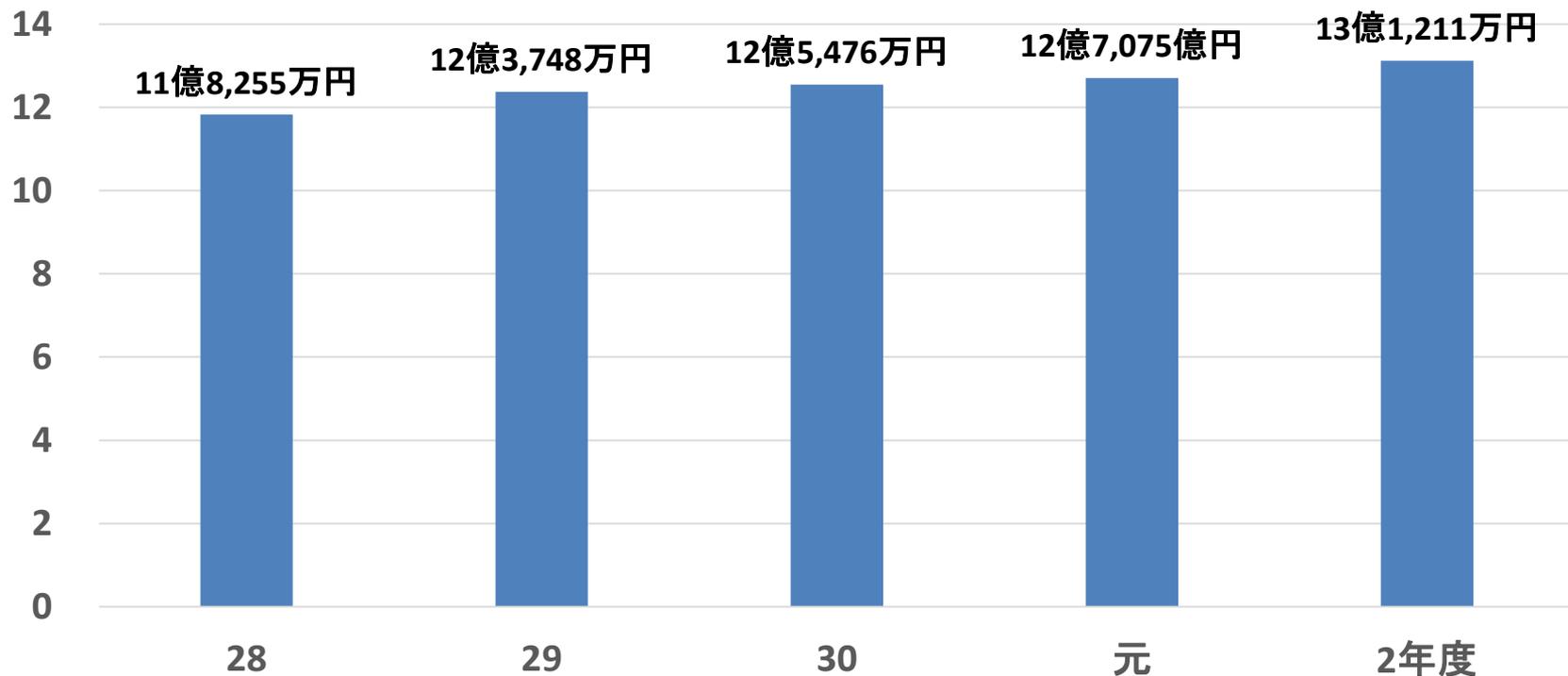
単位:億



# 人件費について

◆この人件費のグラフには、報酬手当、各種委員等の報酬、職員の給料、手当、退職金、会計年度任用職員の報酬等が含まれています。職員数(150人分:R3.4現在、保育士・調理員を含む・特別職は除く)については、定員管理の適正化を含め、行政サービスの低下をさせないように努めてまいります。

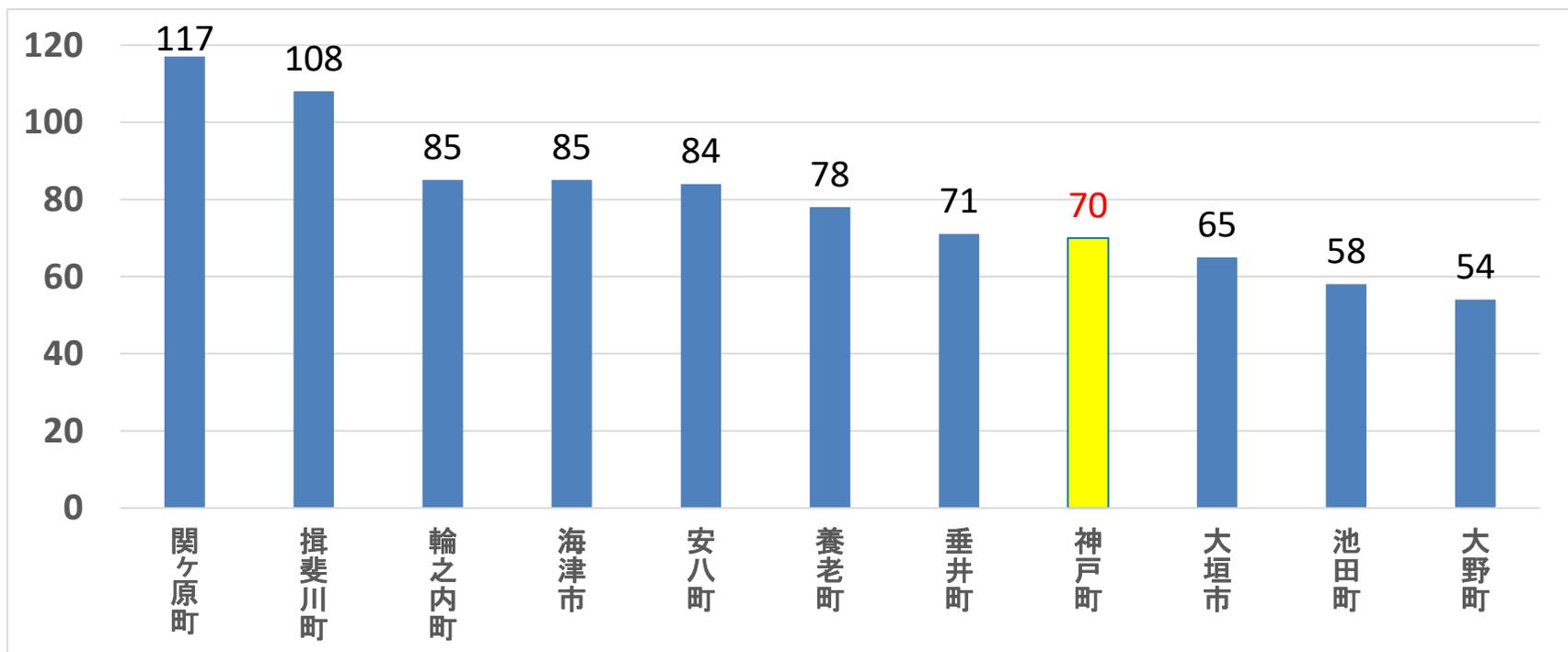
単位:億



# 住民1人あたりの人件費

◆このグラフは、人件費を人口で割って、「住民1人あたりにかかる人件費」を算出し、西濃地方の各自治体の数値を比較したものです。先の表においても分かるように年々人件費は上昇しています。これは、近年の行政サービスの多様化に対応するためであります。他の市町と比較すると、人件費を抑えて行政運営を行っています。なお、人口1人あたりの人件費は、「人口規模が大きいほど、住民1人あたりの行政コストは小さくなる」傾向があります。

単位：千円      西濃地方自治体の住民1人あたりの人件費(令和2年度数値)



# みんなが幸せ! 笑顔あふれるまちに!

- ◆報告させていただく内容は以上です。
- ◆町民の皆様の生活と安全を守るため、刻々と変わる社会情勢をしっかりと見極めながら、これまでの施策をさらに効果的に推進しつつも、暮らしやすさを実感できる新たな施策にも積極的に取り組んでまいります。
- ◆皆様の声にしっかりと耳を傾け、心に寄り添いながら、「住み続けたいまち ごうど」を創るべく、町政運営を進めていきます。
- ◆皆様方の一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

